

労災事故の増加が拡大しています。
☆死傷災害は123名(15.1%)増加し935名となっています。



用語の説明は支部
ホームページ参照！

神奈川県労働局の集計によると、令和4年12月末(1月1日から12月31日)における
県内の陸運業の労働災害発生は令和3年同期と比較し次のとおりとなっています。

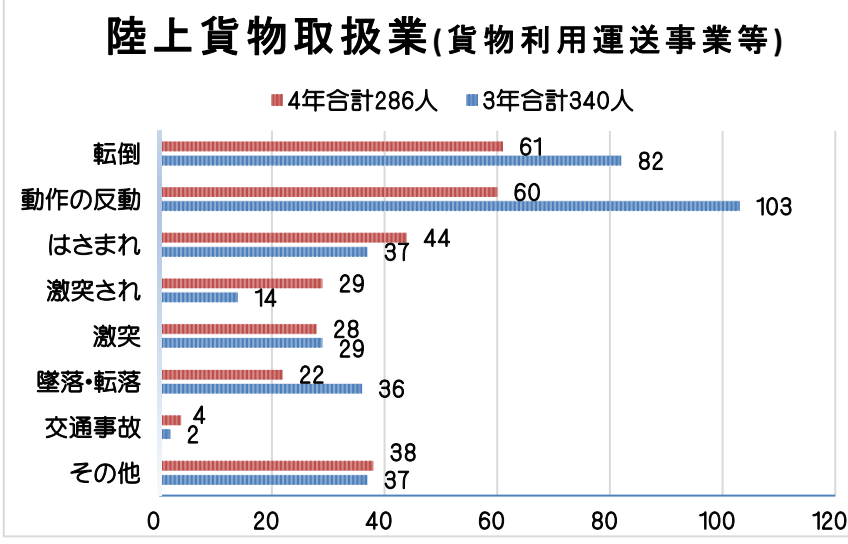
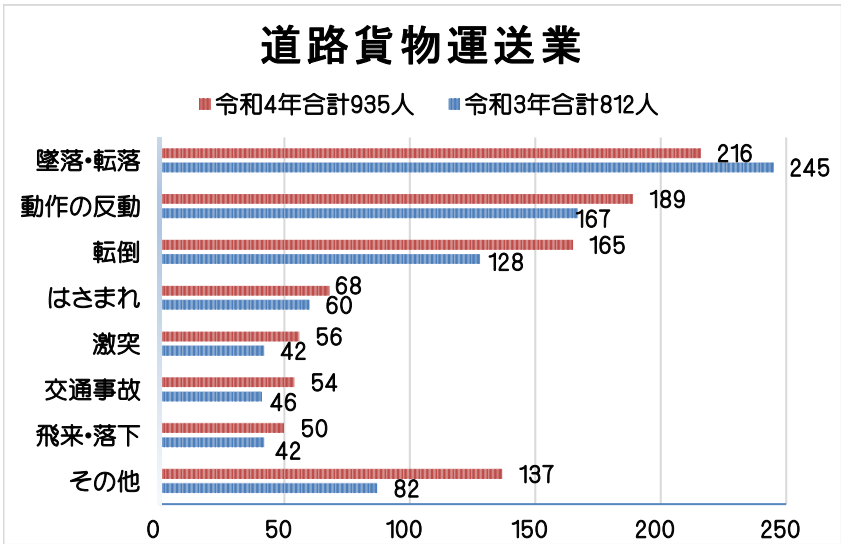
- 死傷災害は 道路貨物運送業では123名(+15.1%)増加しており、
陸上貨物取扱業では54名(-15.9%)減少となっています。
- 死亡災害は 道路貨物運送業で3件、陸上貨物取扱業で3件発生しています。

死傷災害とは、死亡災害と4日以上休業災害を合計したものです。

1. 概況 (神奈川県内) 道路貨物運送業・・・(事故の型ワースト6+交通事故)

事故の型	墜落・転落	動作の反動 (腰痛等)	転倒	はさまれ・ 巻き込まれ	激突	飛来・落下	交通事故	その他	合計
発生件数	216	189	165	68	56	50	54	137	935
対前年増減	-29	+22	+37	+8	+14	+8	+8	+55	+123
同上増減率	-11.8%	+13.2%	+28.9%	+13.3%	+33.3%	+19.0%	+17.4%	+67.1%	+15.1%

2. 各業種の概要



- ☆1 昨年同期に比べ+15.1%(+123名)増加して935名となっている。
- ☆2 墜落・転落が216名と相変わらず多く発生している。
- ☆3 転倒災害が+28.9%(+37名)と大きく増加している。
- ※1 昨年同期に比べ-15.9%(-54名)減少して286名となった。
- ※2 腰痛等の動作の反動が-41.7%(-43名)と大幅に減少している。
- ※3 転倒災害が61名と多く発生している。

3. 死亡災害発生概要 (陸上貨物運送事業(道路貨物運送業+陸上貨物取扱業)関係) 陸災防神奈川県支部収集

番号	発生地	月 時刻	事業の種別 労働者数 職種	起 因 物 事故の型	発 生 概 要
1	横浜市	4月 13時頃	陸上貨物 取扱業 ～9名 作業員	荷姿の物 崩壊、倒壊	60歳代前半の作業員がフォークリフトを運転して倉庫から出庫作業中、出庫対象の隣のはい積み(1トフレコンバグの4段重ね、高さ約4メートル)がもたれかかり運び出せない箇所を確認しようと下車した時、当該もたれていた3・4段目が崩れ落ち、下敷きとなり死亡した。
2	海老名市	6月 6時頃	陸上貨物 取扱業 50～99名 作業員	フォークリフト 墜落、転落	50歳代後半の構内作業員が物流施設内でリーチフォークリフトに乗り、バースに荷揃え中、荷を積載して後進時に高さ1メートルのプラットホームから同車ごと落ち、同車ヘッドガードと床との間にはさまれ死亡した。
3	厚木市	7月 —	道路貨物 運送業 30～49名 運転者	起因物なし その他	30歳代後半のトラックドライバーが配送先の倉庫で荷卸し中に意識を失い荷台上で倒れ死亡した。その後の調査で、長時間労働による過重な業務に従事していたと認められた。
4	相模原市	10月 9時頃	陸上貨物 取扱業 30～49名 作業員	トラック はさまれ、 巻き込まれ	70歳代前半の構内作業員が物流センターのプラットホームの下をほうきで清掃中、荷卸しのため後進してきた13トントラックの背面とプラットホームの端にはさまれ死亡した。
5	平塚市	11月 11時頃	道路貨物 運送業 ～9名 運転者	トラック 激突され	荷卸し先に到着したトレーラーの運転者(70歳代前半)が、荷卸し先の作業員が荷卸しをしている状況を、運転席から降りて見守っていたところ、別の作業員のため後進してきた3トントラックに激突されて死亡した。
6	足柄上郡	12月 11時頃	道路貨物 運送業 10～29名 運転者	トラック 交通事故 (道路)	40歳代前半のトラックドライバーが高速道路の下り線で2トントラックを運転中、渋滞の最後尾の大型トラックに追突して死亡した。

